

令和 7 年 1 月 2 4 日  
午前 1 1 時 0 0 分発表



問い合わせ先  
稚内海上保安部  
次長 堤 憲一郎  
Tel 0162-22-0118

## 令和 6 年における海難発生状況について（速報値）

令和 6 年に稚内海上保安部管内で発生した海難について、発生状況を取りまとめましたのでお知らせいたします。

### ◇船舶事故

船舶事故隻数は 7 隻（前年比同じ）

このうち船舶事故による死亡・行方不明者は 1 人（前年比 1 人増加）

### ◇人身事故

人身事故者数は 4 人（前年比 5 人減少）

このうち人身事故による死亡・行方不明者は 1 人（前年比 3 人減少）

※過去 5 年間における海難発生状況は別紙 1 のとおり

- 1 船舶事故の発生状況（詳細は別紙 2—1 のとおり）  
船舶事故隻数は 7 隻で前年と比べ増減はありませんでした。  
船種別では、漁船が最も多い 5 隻でした。
- 2 人身事故の発生状況（詳細は別紙 2—2～2—5 のとおり）  
人身事故者数は 4 人で前年と比べ 5 人減少しました。  
事故種別では、船舶事故によらない乗船者の人身事故者数 3 人（前年比 2 人減少）、マリンレジャーに伴う海浜事故者数 0 人（前年比 1 人減少）、マリンレジャー以外の海浜事故者数 1 人（前年比 2 人減少）でした。
- 3 令和 6 年に発生した海難の傾向  
船舶事故隻数 7 隻のうち 5 隻が漁船による事故でした。そのうち 4 隻が転覆による事故でした。また、人身事故者数 4 人のうち 3 人が船舶事故によらない乗船者の人身事故で、そのうち 2 人が漁業者による事故でした。

#### 4 海難防止のポイント

海難を防ぐために次のことに注意してください

##### (1) 船舶事故を防ぐために

- ① 海に出る前に発航前検査を実施する。
- ② 航行中は常時適切な見張りを徹底する。
- ③ 万が一に備えて連絡体制の確保・帰港時刻を伝える等救助支援者の確保を実施する。

##### (2) 人身事故を防ぐために

- ① ライフジャケットを正しく着用する。
- ② 漁業関係者については慣れた作業でも絶対油断しない。
- ③ その場に適した滑りにくい靴を着用する。
- ④ 海に行く前に最新の気象・海象を確認する。
- ⑤ SUP 等のマリネレジャーは必要な基本技術を身につけてから実施する。

稚内海上保安部では引き続き船舶事故、人身事故の未然防止のため、船舶やマリネレジャー愛好者等への安全推進活動を実施していきます。

※ 上記は発表時の数値であり、今後、原因等を精査した結果によって変わる場合があります。